



平成23年8月4日

## 平成23年度学校基本調査の速報について

文部科学省は、学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的として、標記調査を昭和23年度より毎年実施しています。今般、平成23年度の調査結果の速報を取りまとめたので、公表します。

なお、確定値は平成24年2月公表の予定です。

## 1 調査内容

(1) 調査期日：平成23年5月1日現在

(2) 調査対象：幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校並びに市町村教育委員会

(3) 調査項目：学校数、在学者数、卒業者数、就職者数、進学者数等

## 2 調査結果の主な概要については、別紙のとおり。

## 3 東日本大震災の影響に配慮した対応

被害が甚大であった岩手県、宮城県及び福島県に所在する学校について、以下のとおり扱うこととした。

(1) 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、専修学校及び各種学校については、提出期限を6月25日から10月30日まで延長したため、速報に反映されていない。ただし、調査期日は5月1日現在。

(2) 大学、短期大学及び高等専門学校については、提出期限の延長を6月30日にとどめたため、速報に反映されている。

(3) 今回反映されていない岩手県、宮城県及び福島県の数値については、平成24年2月に公表予定の確定値（報告書）に含める。

<担当> 生涯学習政策局調査企画課

課長 西澤 立志（内線2254）

課長補佐 土山 欽一（内線2016）

学校基本調査係長 松本由布子（内線2264）

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-2260（直通）

平成23年度学校基本調査速報 調査結果のポイント

【調査結果の主な概要】

I. 在学者数

1. 小学校、中学校、高等学校等

- ①小学校 6,583,257人
- ②中学校 3,411,703人
- ③高等学校 3,191,009人

区 分	在 学 者 数			
	総 数	国 立	公 立	私 立
幼 稚 園	1,526,279	5,665	269,617	1,250,997
小 学 校	6,583,257	42,354	6,463,437	77,466
中 学 校	3,411,703	30,237	3,129,120	252,346
高 等 学 校	3,191,009	8,678	2,211,391	970,940
中等教育学校	25,609	2,568	15,319	7,722
特別支援学校	120,045	2,888	116,507	650
専 修 学 校	615,418	532	25,956	588,930
各 種 学 校	120,061	—	796	119,265

(注) 岩手県、宮城県及び福島県の幼稚園等の在学者は含まれていない。

2. 大学、短期大学、高等専門学校

(1)概要

- ①大学 2,893,434人(前年度より6,020人増加) 過去最高  
うち学部 2,569,716人(前年度より10,525人増加) 過去最高  
うち大学院 272,451人(前年度より997人増加) 過去最高
- ②短期大学 150,005人(前年度より5,268人減少)
- ③高等専門学校 59,220人(前年度より322人減少)

大学学部の女子学生は1,094,360人(前年度より16,578人増加)で過去最高。  
その占める割合は、42.6%(前年度より0.5ポイント上昇)で過去最高。  
大学院の女子学生は、82,495人(前年度より362人増加)で過去最高。  
その占める割合は30.3%(前年度と同ポイント)。

区 分	在 学 者 数					
	総 数	うち女子	女子の比率 (%)	国 立	公 立	私 立
大 学	(6,020) 2,893,434	(14,578) 1,200,158	(0.4) 41.5	(-1,735) 623,313	(1,217) 143,740	(6,538) 2,126,381
うち 学 部	(10,525) 2,569,716	(16,578) 1,094,360	(0.5) 42.6	(-711) 450,834	(1,532) 124,502	(9,704) 1,994,380
うち 大 学 院	(997) 272,451	(362) 82,495	(0.0) 30.3	(772) 157,864	(60) 16,463	(165) 98,124
うち 修 士 課 程	(2,157) 175,988	(488) 51,887	(-0.1) 29.5	(786) 98,944	(171) 11,257	(1,200) 65,787
うち 博 士 課 程	(223) 74,655	(242) 24,432	(0.2) 32.7	(382) 51,849	(-132) 4,383	(-27) 18,423
うち 専 門 職 学 位 課 程	(-1,383) 21,808	(-368) 6,176	(0.1) 28.3	(-396) 7,071	(21) 823	(-1,008) 13,914
短 期 大 学	(-5,268) 150,005	(-5,158) 132,633	(-0.3) 88.4	— —	(-641) 8,487	(-4,627) 141,518
高 等 専 門 学 校	(-322) 59,220	(42) 9,401	(0.2) 15.9	(-314) 53,291	(-26) 4,004	(18) 1,925

(注) ( )は、前年度からの増減値である。  
岩手県、宮城県及び福島県の大学等の在学者も含まれている。

(2)関係学科別学生の構成比

学部学生では、社会科学の学生の比率が最も高く、修士課程では工学、博士課程では医・歯学、専門職学位課程では社会科学となっている。

区 分	関 係 学 科 別 学 生 の 構 成 比										
	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	その他
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
学部学生	100.0	15.0	34.2	3.2	15.4	2.9	2.6	2.8	2.7	6.7	14.5
修士課程	100.0	7.3	11.0	8.3	42.4	5.5	1.0	1.3	0.6	6.1	16.5
博士課程	100.0	9.0	9.3	7.0	18.7	5.2	27.4	1.8	0.4	2.9	18.3
専門職学位課程	100.0	1.2	83.1	—	1.6	—	0.5	—	—	7.7	5.9

(3)大学院生のうち社会人の占める割合

大学院生のうち社会人の占める割合は、平成21年度まで上昇してきたが、ここ数年は横ばいとなっており、平成23年度は20.1%(前年度より0.3ポイント低下)。

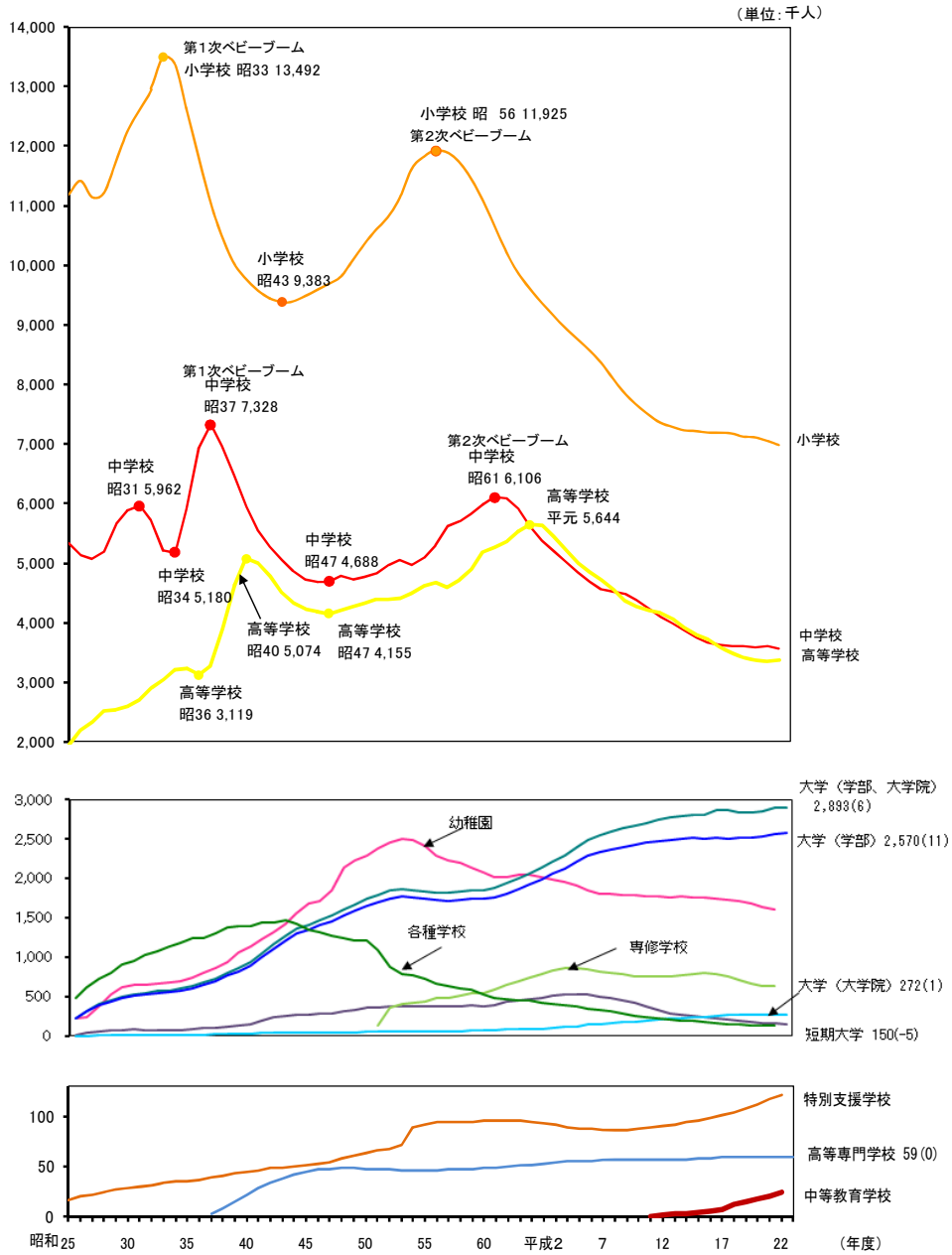
専門職学位課程のうち法科大学院の社会人の占める割合は、減少が続いている。

(%)

	計	男	女	修士課程	博士課程	専門職学位課程	
						計	うち法科大学院
平成14年度	14.8	13.3	18.7	12.6	19.9	…	…
15	15.3	13.8	19.1	12.4	21.1	86.8	…
16	16.8	15.3	20.4	12.3	22.9	54.0	45.5
17	17.8	16.4	20.9	11.9	24.8	46.5	38.2
18	18.6	17.3	21.7	11.9	26.8	43.5	35.3
19	19.5	18.1	22.7	12.0	30.0	40.5	30.4
20	20.4	19.0	23.8	12.1	33.1	39.3	29.7
21	20.7	19.0	24.5	12.2	33.8	40.3	27.8
22	20.4	18.5	24.6	11.6	34.5	40.7	24.9
23	20.1	18.3	24.4	11.2	36.0	37.9	22.6

(注) 社会人とは、①5月1日現在、職に就いている者(給料、賃金、報酬その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いている者)、②企業等を退職した者及び③主婦などをいう。

<参考> 在学者数の推移



(注) ( )内の数は、前年度からの増減値(単位:千人)である。

岩手県、宮城県及び福島県の数値が未集計であるため、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、中等教育学校、専修学校及び各種学校については、平成23年度の数値は反映させていない。

特別支援学校は、平成18年度以前は盲学校、聾学校及び養護学校の計である。

## II. 卒業後の状況

### 1. 中学校卒業後(中等教育学校前期課程を含む。以下同じ。)

高等学校等進学率(通信含む)は98.2%。

(%)

	計	男	女
平成14年度	97.0	96.5	97.5
15	97.3	96.9	97.7
16	97.5	97.2	97.8
17	97.6	97.3	97.9
18	97.7	97.4	98.0
19	97.7	97.4	98.0
20	97.8	97.6	98.1
21	97.9	97.7	98.2
22	98.0	97.8	98.3
23	98.2	98.0	98.5

(注) 平成23年度の数値には、岩手県、宮城県及び福島県の中学校卒業者は含まれていない。

$$\text{高等学校等進学率(通信含む)} = \frac{\text{高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部本科・別科及び高等専門学校に進学した者}}{\text{中学校卒業後及び中等教育学校前期課程修了者}}$$

### 2. 高等学校(全日制・定時制)卒業後(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ。)

#### (1) 概要

##### ① 全体表

大学・短大進学率は54.5%。

専門学校進学率は16.0%。

就職率は15.9%。

(人、%)

	大学・短大進学者(率)	専門学校進学者(率)	就職者(率)	一時的な仕事に就いた者(率)	進学も就職もしていない者(率)	不詳・死亡
平成14年度	589,826 (44.9)	236,809 (18.0)	224,694 (17.1)	…	137,940 (10.5)	334
15	572,181 (44.6)	241,949 (18.9)	212,864 (16.6)	…	132,276 (10.3)	282
16	560,055 (45.3)	237,279 (19.2)	208,907 (16.9)	27,003 (2.2)	92,666 (7.5)	216
17	568,710 (47.3)	228,867 (19.0)	208,747 (17.3)	22,855 (1.9)	78,922 (6.6)	267
18	578,525 (49.4)	213,122 (18.2)	210,442 (18.0)	19,232 (1.6)	66,434 (5.7)	140
19	587,999 (51.2)	193,156 (16.8)	212,635 (18.5)	16,358 (1.4)	59,962 (5.2)	410
20	575,659 (52.9)	167,092 (15.3)	206,628 (19.0)	12,862 (1.2)	53,757 (4.9)	230
21	574,333 (53.9)	156,363 (14.7)	193,615 (18.2)	13,592 (1.3)	54,678 (5.1)	158
22	582,272 (54.3)	170,352 (15.9)	168,727 (15.7)	15,560 (1.5)	59,703 (5.6)	299
23	550,720 (54.5)	161,921 (16.0)	160,320 (15.9)	14,049 (1.4)	54,522 (5.4)	268

(注) 平成23年度の数値には、岩手県、宮城県及び福島県の高等学校卒業者は含まれていない。

「就職者」には進学かつ就職した者を含む。

「進学も就職もしていない者」には、予備校に通っていない進学準備者を含む。

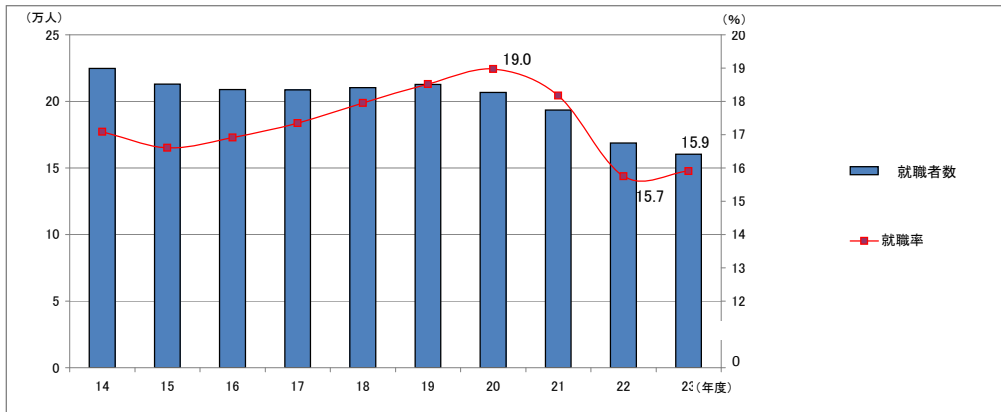
$$\text{大学・短大進学率} = \frac{\text{大学の学部、短期大学の本科、大学・短期大学の通信教育部、同別科及び高等学校・特別支援学校高等部の専攻科に進学した者}}{\text{高等学校卒業後及び中等教育学校後期課程卒業者}}$$

$$\text{就職率} = \frac{\text{就職者}}{\text{高等学校卒業後及び中等教育学校後期課程卒業者}}$$

(2) 就職状況

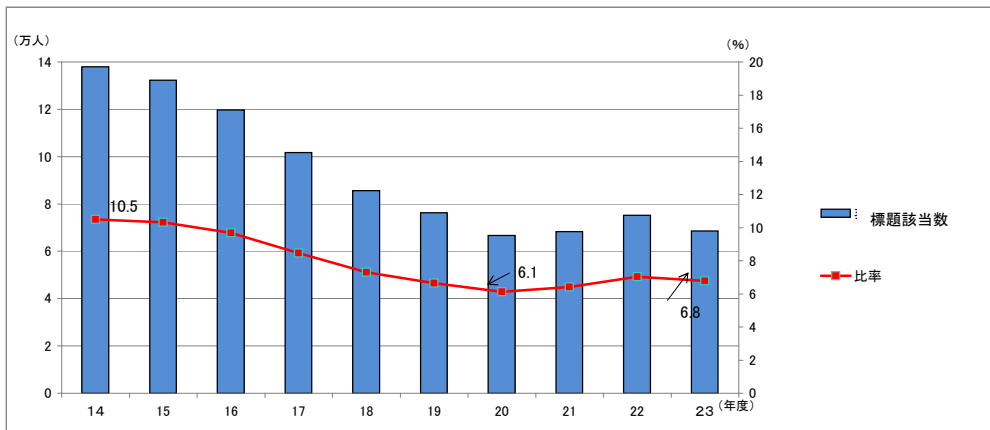
① 「就職者数」及び「就職率」の推移

平成21年度以降低下していた就職率は、平成23年度は15.9%。



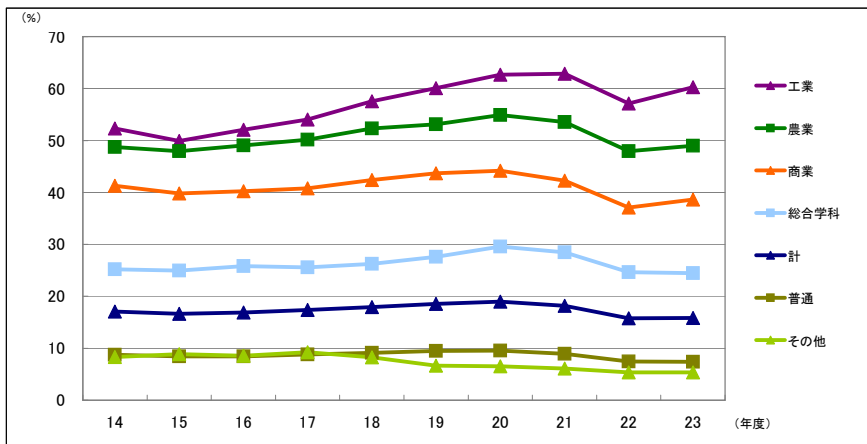
② 「一時的な仕事に就いた者」及び「進学も就職もしていない者」の数とその比率の推移

減少傾向にあった「一時的な仕事に就いた者」及び「進学も就職もしていない者」は、ここ数年はほぼ横ばいとなっており、平成23年度は6.8%。



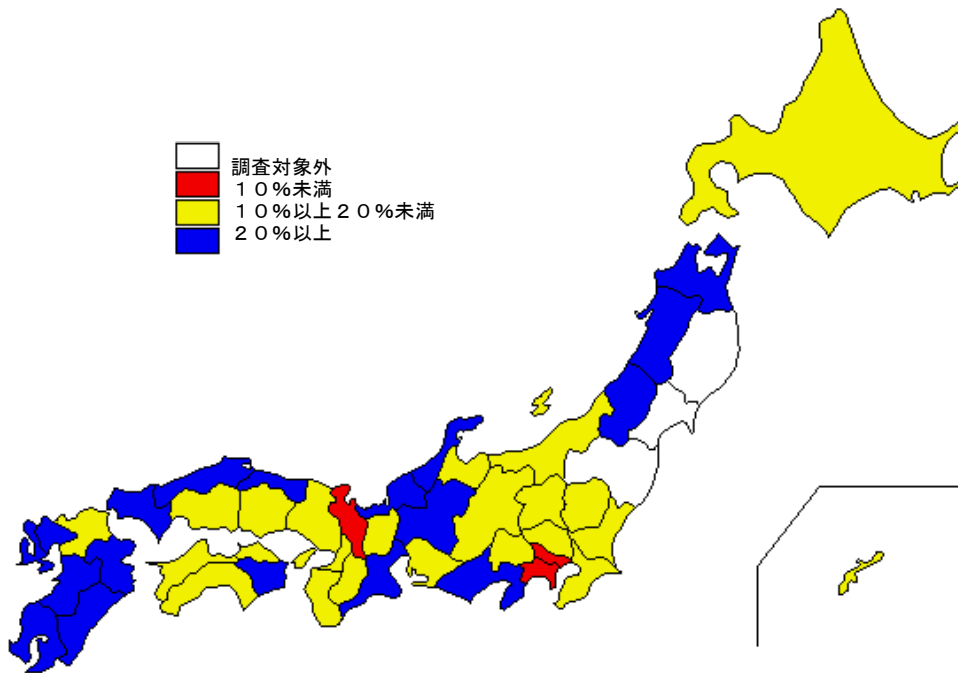
③ 関係学科別就職率の推移

専門学科は総合学科や普通科に比べて就職率が高い。



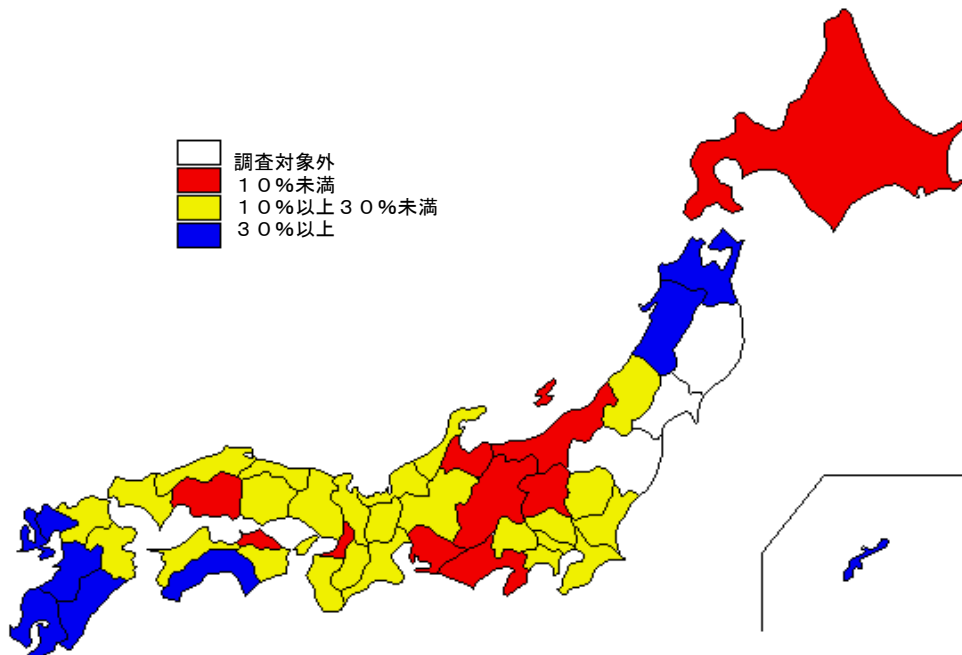
④当該都道府県に所在する高等学校卒業者の就職率

東北地方、山陰地方、九州地方などでは、就職率が相対的に高い傾向がある。



⑤就職者のうち卒業した高等学校が所在する都道府県外に就職した者の割合  
(就職者の県外就職率)

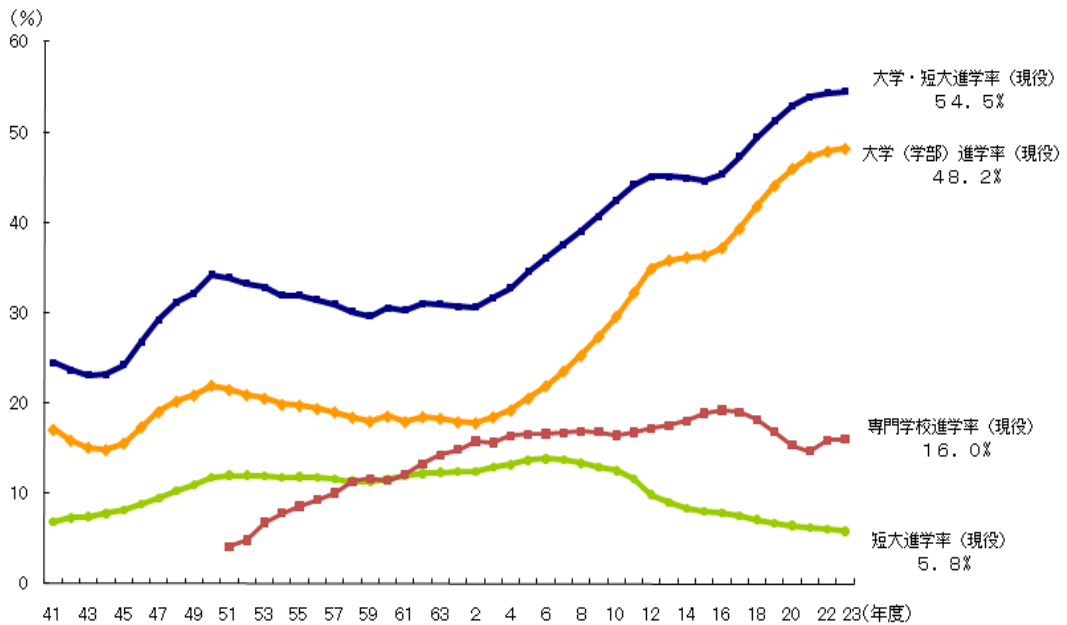
東北地方や九州地方は就職率は高いが、県外就職率も相対的に高い傾向にある。



(3)進学状況

①平成23年3月高等学校卒業者の進学率の推移(現役進学率)

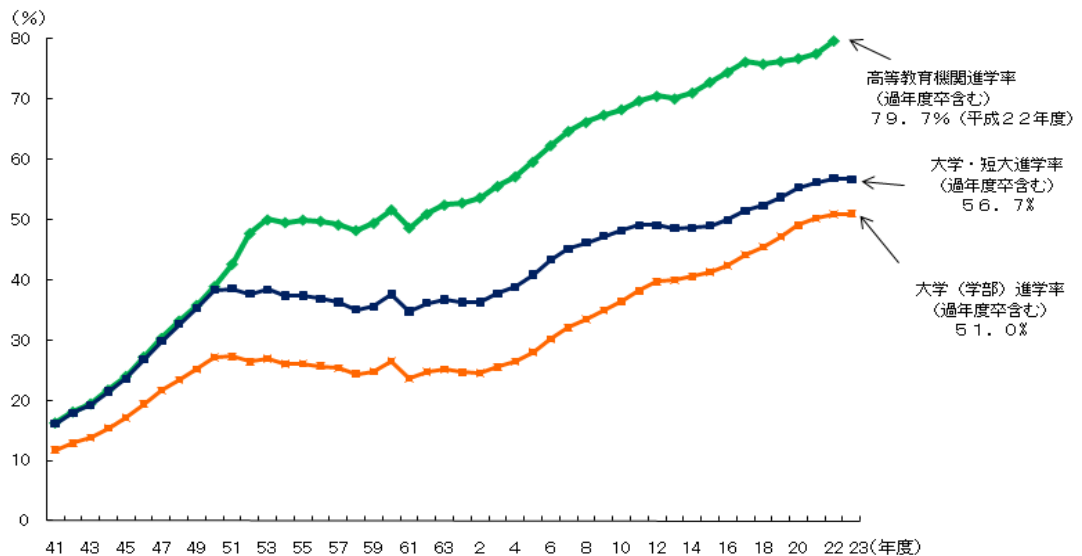
大学(学部)進学率は48.2%。  
短大進学率は5.8%。  
専門学校進学率は16.0%。



$$\text{大学・短大進学率(現役)} = \frac{\text{大学の学部、短期大学の本科、大学・短期大学の通信教育部、同別科及び高等学校・特別支援学校高等部専攻科に進学した者}}{\text{高等学校卒業生及び中等教育学校後期課程卒業生}}$$

(注) 平成23年度の進学率には、岩手県、宮城県及び福島県の高等学校卒業生及び中等教育学校後期課程卒業生の進学状況は未集計であるため、算入されていない。

②過年度卒業者を含めた進学率の推移



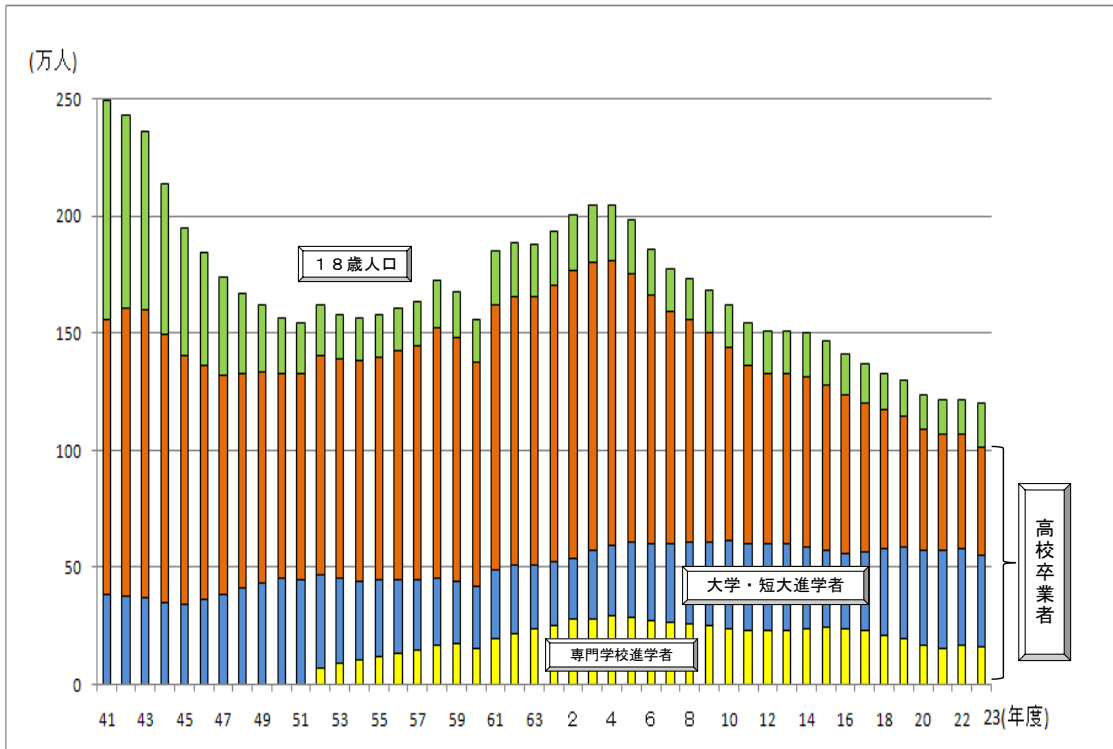
$$\text{高等教育機関進学率(過年度卒含む)} = \frac{\text{大学・短期大学入学者、高等専門学校4年在学者及び専門学校入学者}}{\text{18歳人口(3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者)}}$$

$$\text{大学(学部)進学率(過年度卒含む)} = \frac{\text{大学(学部)の入学者}}{\text{18歳人口(3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者)}}$$

(注) 平成23年度の岩手県、宮城県及び福島県の専門学校への入学者は未集計であるため、高等教育機関進学率(過年度含む)は平成22年度までとしている。  
一方、大学・短大への入学者はすべて捕捉されているので、大学・短大進学率(過年度含む)及び大学(学部)進学率(過年度含む)には、岩手県、宮城県及び福島県に所在する高等学校からの入学者も算入されている。

③進学者数の推移

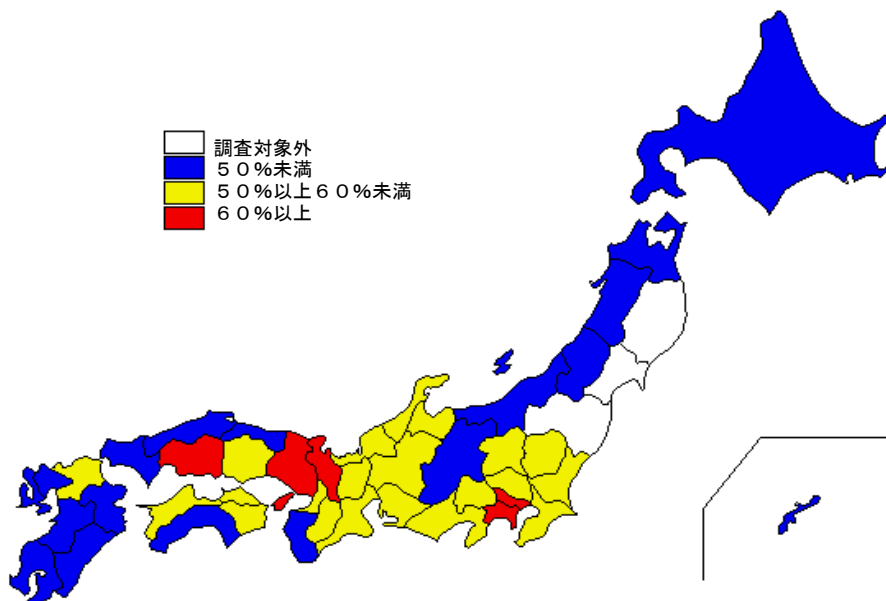
18歳人口の減少とともに高等学校卒業者は減少しているが、大学・短大進学者や専門学校進学者はほぼ横ばいで推移している。



(注) 18歳人口とは、3年前の中学校卒業業者数及び中等教育学校後期課程卒業業者数。

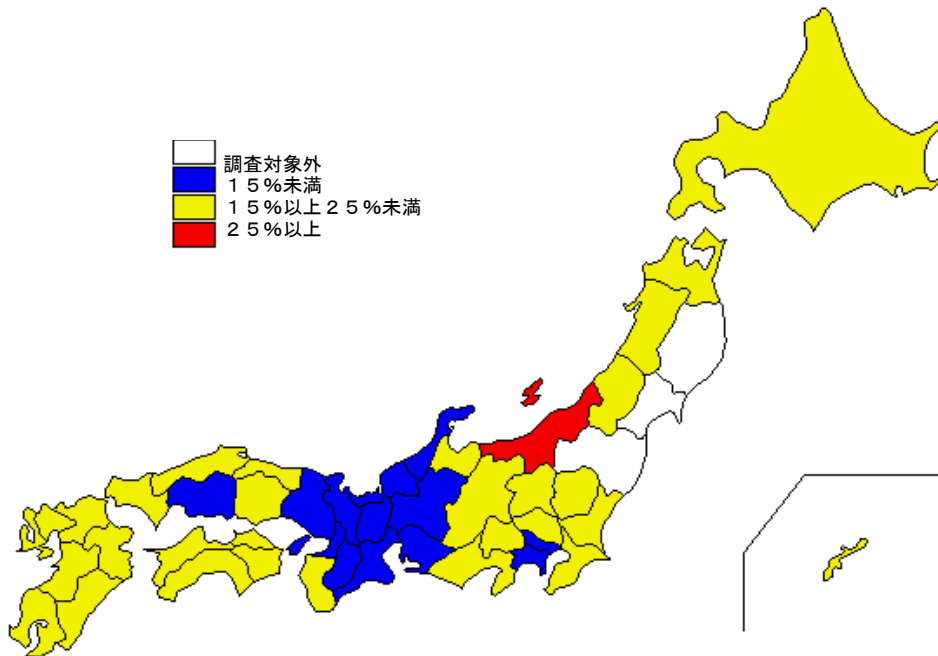
④当該都道府県に所在する高等学校卒業者の大学・短期大学進学率(現役進学率)

東北地方、山陰地方、九州地方などでは、進学率が相対的に低い。



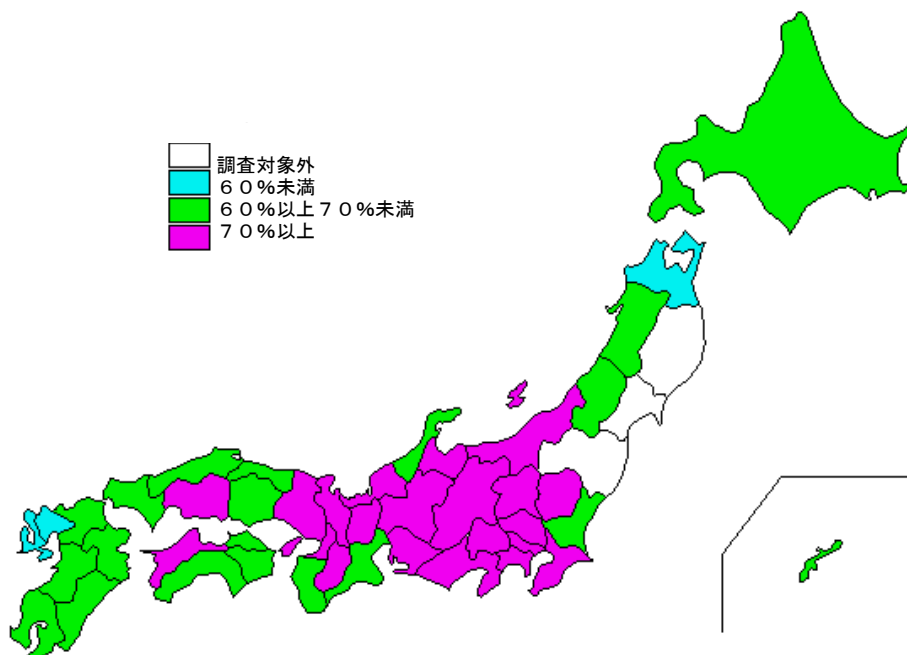
⑤当該都道府県に所在する高等学校卒業者の専門学校進学率(現役進学率)

専門学校進学率は関東地方、中部地方で相対的に低い。



⑥当該都道府県に所在する高等学校卒業者の大学・短期大学・専門学校進学率(現役進学率)

専門学校を含めた進学率は、関東地方、中部地方、近畿地方では70%を超えている。



### 3. 大学(学部)卒業生

#### (1) 概要

##### ① 全体表

大学院等進学率は12.8%で横ばい。就職率は平成22年度に低下したまま、61.6%で横ばい。

	卒業生	大学院等進学者(率)	就職者 (率)	一時的な仕事に就いた者(率)	進学も就職もしていない者(率)	不詳・死亡
平成14年度	547,711	59,676 (10.9)	311,495 (56.9)	23,205 (4.2)	118,892 (21.7)	27,488
15	544,894	62,251 (11.4)	299,987 (55.1)	25,255 (4.6)	122,674 (22.5)	26,605
16	548,897	64,610 (11.8)	306,414 (55.8)	24,754 (4.5)	110,035 (20.0)	22,699
17	551,016	66,108 (12.0)	329,125 (59.7)	19,507 (3.5)	97,994 (17.8)	18,398
18	558,184	67,298 (12.1)	355,820 (63.7)	16,659 (3.0)	82,009 (14.7)	15,108
19	559,090	67,175 (12.0)	377,776 (67.6)	13,287 (2.4)	69,296 (12.4)	12,503
20	555,690	67,372 (12.1)	388,480 (69.9)	11,485 (2.1)	59,791 (10.8)	10,803
21	559,539	68,422 (12.2)	382,485 (68.4)	12,991 (2.3)	67,894 (12.1)	8,904
22	541,428	72,539 (13.4)	329,190 (60.8)	19,332 (3.6)	87,174 (16.1)	10,807
23	552,794	70,642 (12.8)	340,546 (61.6)	19,146 (3.5)	87,988 (15.9)	13,606

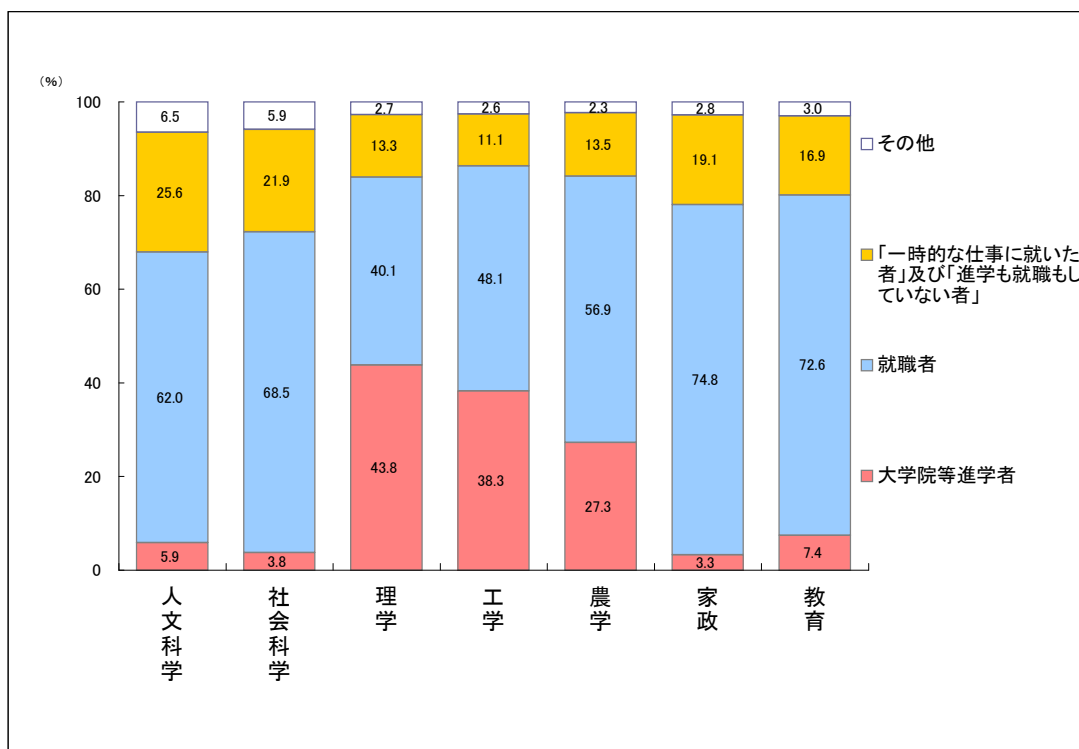
(注) 平成23年度の数値には、岩手県、宮城県及び福島県の大学卒業生も含まれている。「就職者」には進学しかつ就職した者を含む。

$$\text{大学院等進学率} = \frac{\text{大学院研究科、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科、別科へ入学した者}}{\text{大学学部卒業生}} \quad (\text{人、}\%)$$

$$\text{就職率} = \frac{\text{就職者}}{\text{大学学部卒業生}}$$

##### ② 関係学科別の卒業生の状況(平成23年3月卒業生)

文科系(人文科学・社会科学)は理科系(理学・工学・農学)に比べて、大学院等進学率が低いが、就職率が高く、「一時的な仕事に就いた者」や「進学も就職もしていない者」(就職準備中の者を含む。)の比率も高い。

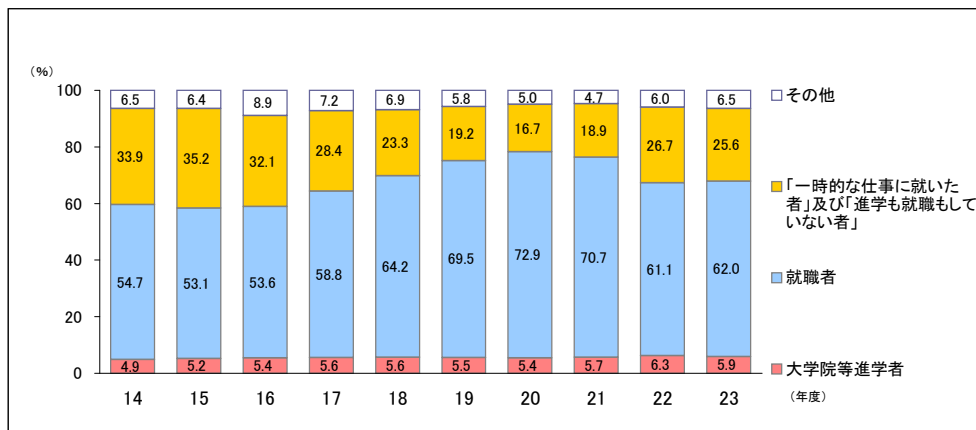


(注) 各項目の数値は卒業生に対する比率である。端数を四捨五入しているため、各項目の計が100にならない場合がある。また、就職者には進学しかつ就職した者を含むため、各項目の合計が100を超える場合がある(以下同じ)。

### ③人文科学、社会科学、理学及び工学別の卒業者の状況の推移

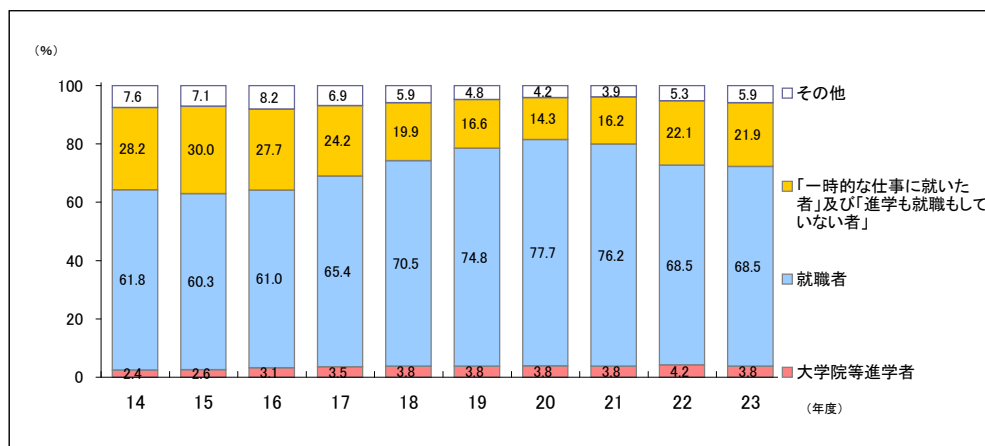
#### (i) 人文科学

この2年ほど、就職率は低下し、「一時的な仕事に就いた者」及び「進学も就職もしていない者」の比率が上昇している。



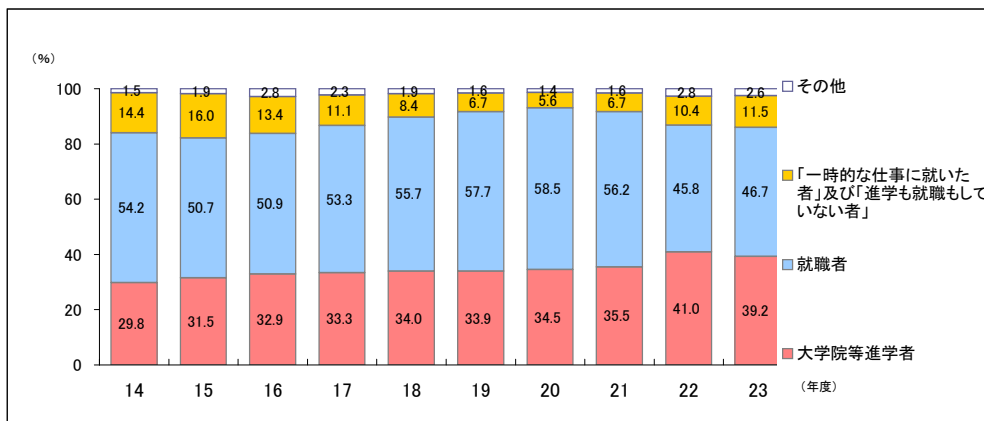
#### (ii) 社会科学

(i)と同様。



#### (iii) 理学及び工学の計

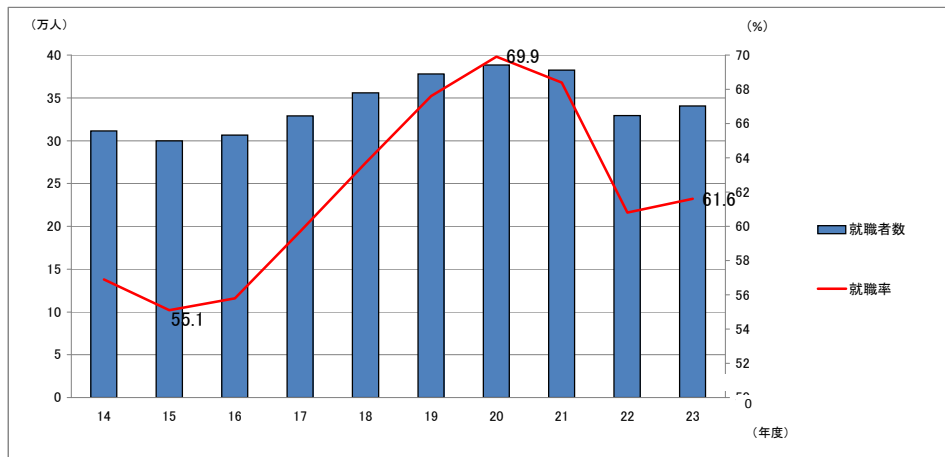
この2年ほど、「一時的な仕事に就いた者」及び「進学も就職もしていない者」の比率は多少増加しているが、文科系ほどではない。



(2)就職状況

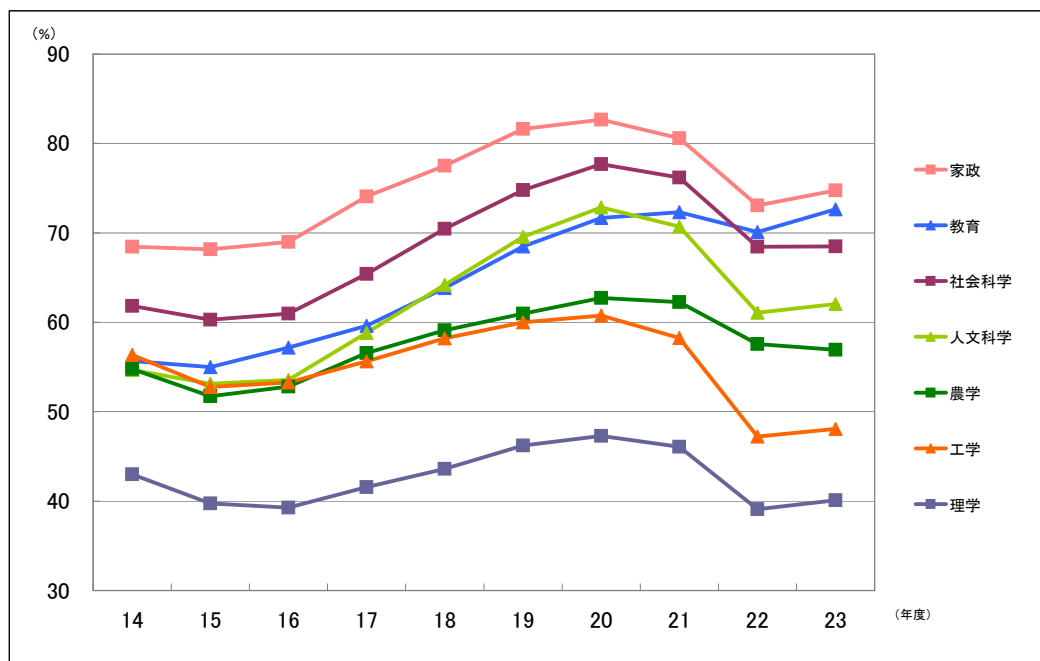
①「就職者数」及び「就職率」の推移

過去最低であった平成15年度を底に上昇していた就職率は、平成20年度には69.9%まで上昇したが、平成21年度以降は低下し、平成23年度は61.6%(0.8ポイント上昇)で、昨年度からほぼ横ばい。



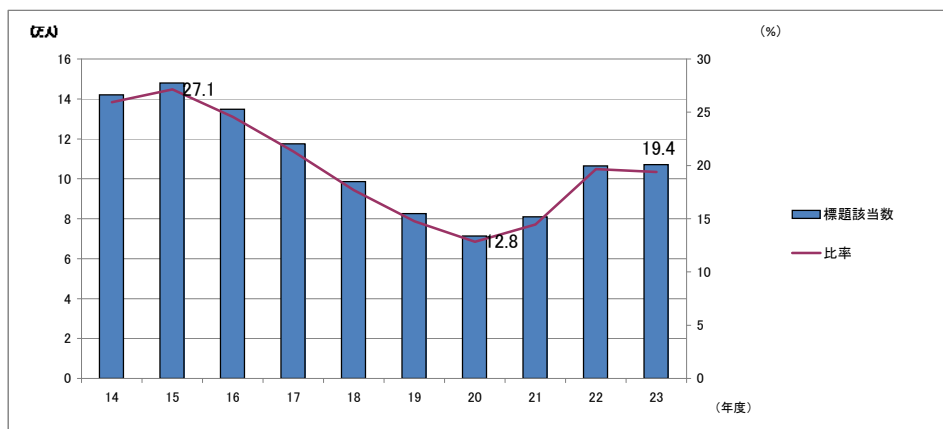
②関係学科別就職率の推移

関係学科別の就職率は、家政、教育、社会科学、人文科学が高くなっている。



③「一時的な仕事に就いた者」及び「進学も就職もしていない者」の数とその比率の推移

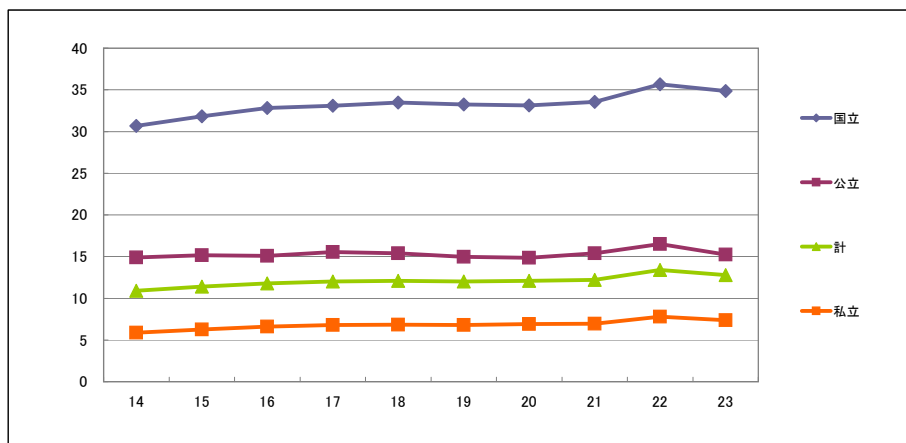
平成15年度以降低下していた「一時的な仕事に就いた者」及び「進学も就職もしていない者」の比率は平成21年度以降上昇し、平成23年度は19.4%(0.3ポイント減少)で昨年度からほぼ横ばい。



(3) 大学院等進学状況の推移

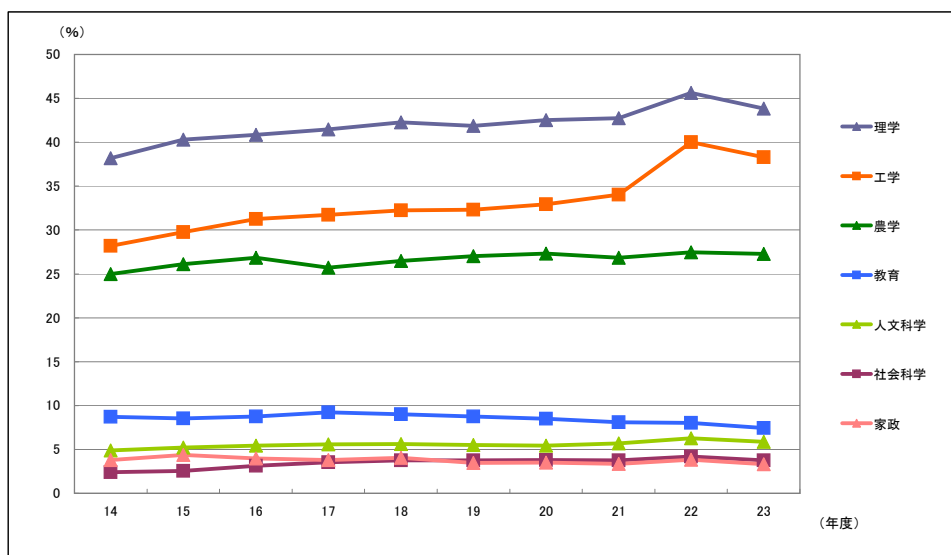
① 国公立別大学院等進学率

大学院への進学率は、国立が高く、次いで公立、私立となっている。



②関係学科別大学院等進学率の推移

関係学科別の大学院への進学率は、理学、工学、農学が高くなっている。



(4)最低修業年限(4年)を1年超過して卒業した者(大学学部)

修業年限が4年の学部で、修業年限を1年超過して卒業した者は、減少傾向が続いていたが、平成22年度から増加してきている。

一般に、就職率が低い時期に該当者が増える傾向にある。

(人)

	修業年限1年超過者
平成14年度	46,655
15	46,439
16	46,287
17	46,239
18	45,562
19	43,623
20	41,823
21	41,141
22	44,525
23	45,062

#### 4. 大学院卒業生

##### (1) 修士課程

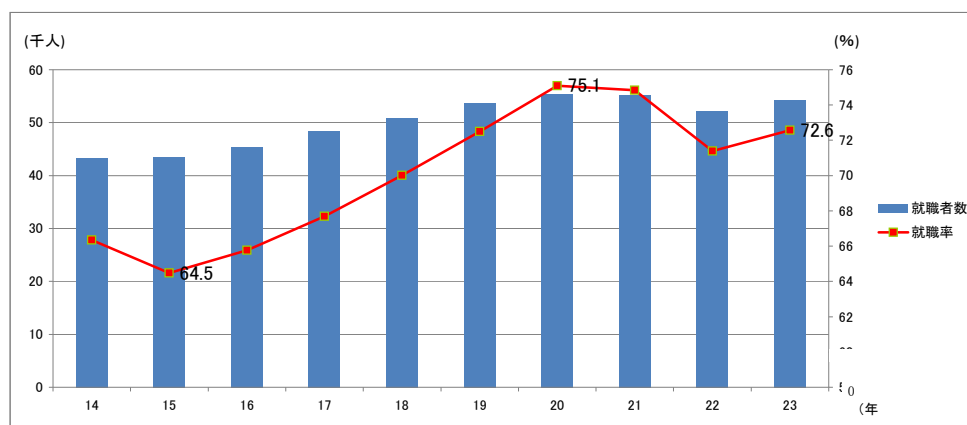
###### ① 全体表

(人、%)

	卒業生	進学者 (率)	就職者 (率)	一時的な仕事に就いた者 (率)	進学も就職もしていない者 (率)	不詳・死亡(率)
平成14年度	65,275	9,226 (14.1)	43,312 (66.4)	—	9,979 (15.3)	2,933 (4.5)
15	67,412	9,670 (14.3)	43,464 (64.5)	—	11,370 (16.9)	3,071 (4.6)
16	69,073	9,912 (14.4)	45,426 (65.8)	873 (1.3)	9,616 (13.9)	3,028 (4.4)
17	71,440	9,379 (13.1)	48,357 (67.7)	1,002 (1.4)	9,673 (13.5)	2,731 (3.8)
18	72,531	9,077 (12.5)	50,782 (70.0)	1,023 (1.4)	8,618 (11.9)	2,712 (3.7)
19	73,993	8,440 (11.4)	53,638 (72.5)	969 (1.3)	8,197 (11.1)	2,472 (3.3)
20	73,881	7,938 (10.7)	55,480 (75.1)	961 (1.3)	7,150 (9.7)	2,158 (2.9)
21	73,811	7,953 (10.8)	55,243 (74.8)	944 (1.3)	7,411 (10.0)	2,053 (2.8)
22	73,220	8,556 (11.7)	52,278 (71.4)	1,099 (1.5)	8,687 (11.9)	2,281 (3.1)
23	74,675	8,059 (10.8)	54,186 (72.6)	997 (1.3)	9,046 (12.1)	2,121 (2.8)

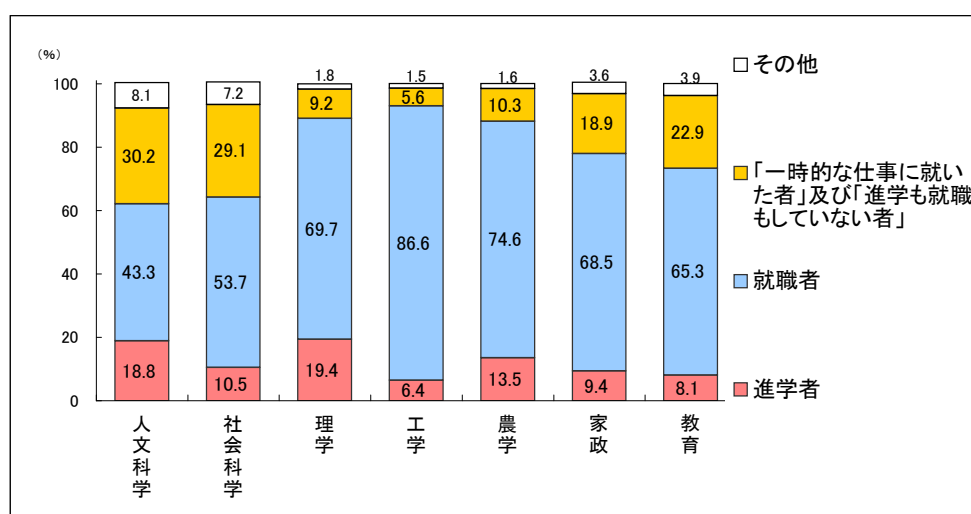
###### ② 修士課程修了者の就職率の推移

平成15年度から上昇していた就職率は、学部卒業生ほどではないものの、平成21年度以降低下し、平成23年度は72.6%(1.2ポイント上昇)で、昨年度からほぼ横ばい。



###### ③ 専攻分野別の卒業後の状況

文科系は理科系に比べて、「就職者」が低く、「一時的な仕事に就いた者」及び「進学も就職もしていない者」の比率が高い。



## (2) 博士課程

### ① 全体表

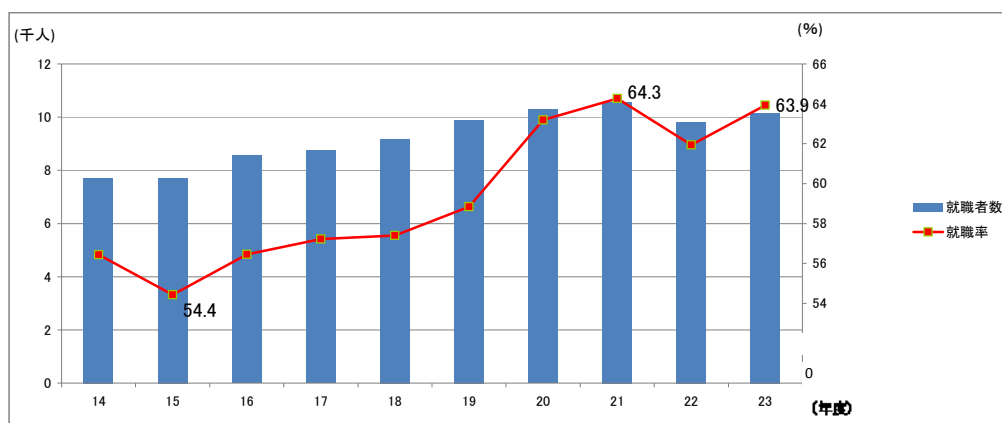
(人、%)

	卒業生	就職者 (率)	一時的な仕事に就いた者 (率)	進学も就職もしていない者 (率)	不詳・死亡(率)
平成14年度	13,642	7,699 (56.4)	—	4,609 (33.8)	1,286 (9.4)
15	14,512	7,898 (54.4)	—	5,062 (34.9)	1,389 (9.6)
16	15,160	8,557 (56.4)	492 (3.2)	3,916 (25.8)	1,736 (11.5)
17	15,286	8,746 (57.2)	753 (4.9)	3,950 (25.8)	1,436 (9.4)
18	15,973	9,167 (57.4)	730 (4.6)	4,216 (26.4)	1,469 (9.2)
19	16,801	9,885 (58.8)	808 (4.8)	4,146 (24.7)	1,557 (9.3)
20	16,281	10,288 (63.2)	695 (4.3)	3,340 (20.5)	1,569 (9.6)
21	16,463	10,579 (64.3)	636 (3.9)	3,386 (20.6)	1,502 (9.1)
22	15,842	9,812 (61.9)	950 (6.0)	3,171 (20.0)	1,559 (9.8)
23	15,893	10,160 (63.9)	1,022 (6.4)	2,858 (18.0)	1,512 (9.5)

(注) 博士課程の「卒業生」には、所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得した後、学位を取得せずに満期退学した者を含む(以下同じ)。

### ② 博士課程卒業生の就職率の推移

博士課程の就職率は、平成15年度以降、上昇傾向にあったが、ここ数年はほぼ横ばい。



### ③ 専攻分野別の卒業後の状況

理科系、とりわけ工学にあっては就職率は高いのに対し、文科系では相対的に就職率が低い。

